

# 「学校林・遊々の森」 全国子どもサミット

IN  
北海道

2013年8月6日~  
8月7日

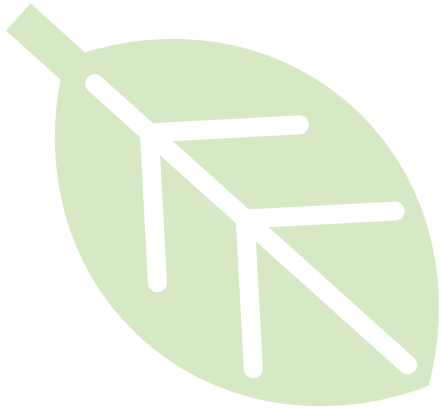
報告書

北の大地で感じよう。  
森と水と命のつながり

# 「学校林・遊々の森」 全国子どもサミット



報告書



はじめに ..... 2

プログラム ..... 3

開催にあたって ..... 4

各小学校の取り組み  
(森林体験活動発表) ..... 7

森林体験活動発表の講評 ..... 55

特別講演 ..... 59

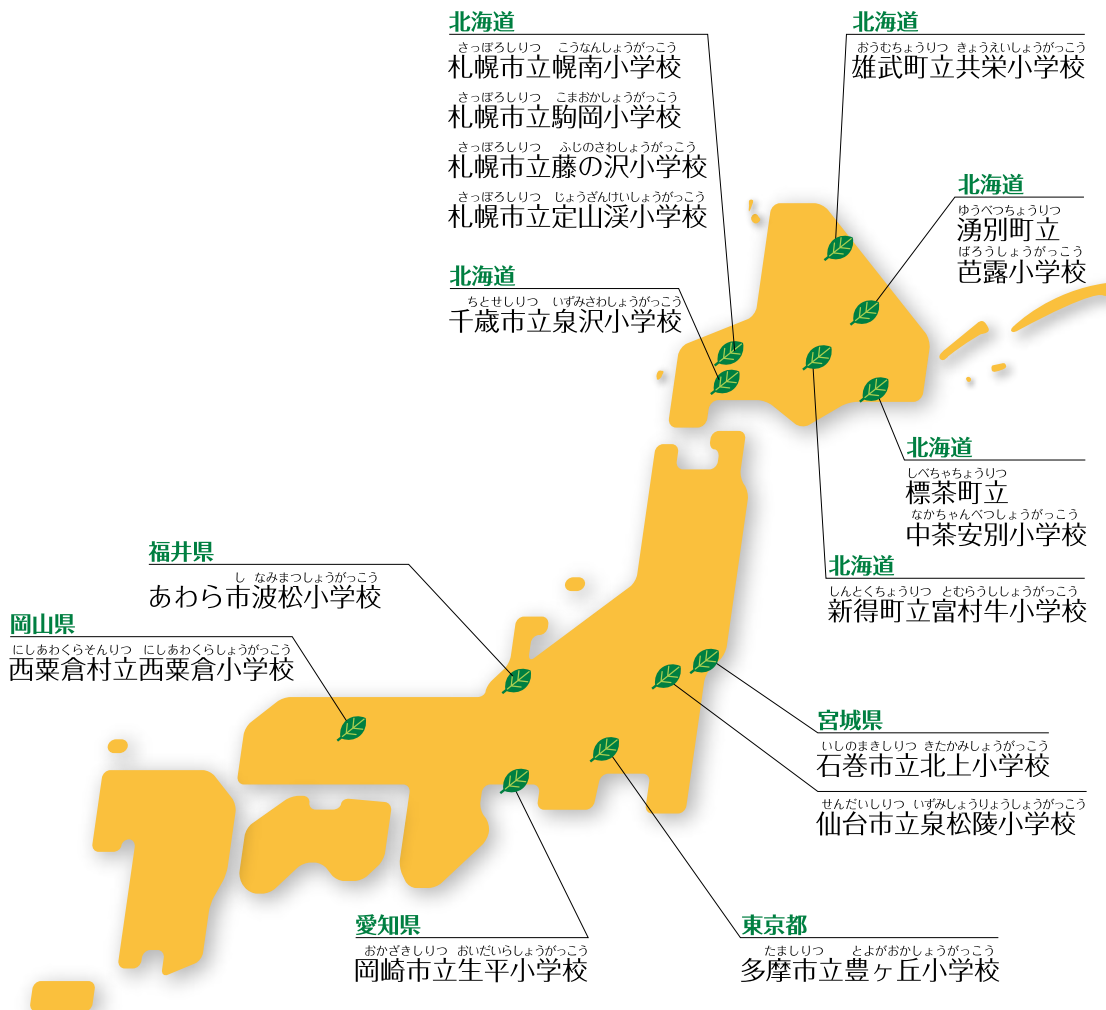
サミット当日の様子 ..... 63

参加者からの感想及びアンケート結果 ..... 77



協賛企業の取り組み ..... 81

各実行委員（組織）の取り組み ..... 93



# はじめに

## 「学校林・遊々の森」全国子どもサミットの目的

「学校林・遊々の森」は、子どもたちが自らの行動で学び体験する活動が行われる学習・体験活動の場です。

「学校林・遊々の森」全国子どもサミットは、この活動の取組を広げていくことを目的として、平成19年度に東京都八王子市で開催したのが始まりで、20年度の熊本県熊本市、21年度の高知県香美町、22年度の秋田県八峰町、23年度の長野県松本市、24年度の京都府京都市に続き、今回で7回目となる25年度は北海道札幌市で開催しました。

『「学校林・遊々の森」全国子どもサミットin北海道』では、6都道県（北海道・宮城県・福井県・東京都・愛知県・岡山県）から15小学校の児童や先生方、一般参加者など約150名が参加し、子どもたちの学習・体験活動の発表や自然体験活動などを行い、これらの情報発信を通じて、森林づくりの大切さの輪を全国に広げていこうとするものです。

## 学校林とは

明治時代に、森林の造成を通じ、青少年の林業教育、学校の基本財産の造成を目的に設定されました。

平成18年度時点で、全国の小学校、中学校、高等学校のうち、3,057校において、約2万ヘクタールが設定されています。

学校林活動は、木材価格の低迷等による林業不振やカリキュラムの見直しにより、停滞していました。

最近になって、総合的な学習の時間の導入により、環境学習の場として、学校林活動が見直されつつあります。しかしながら、全体では各学校単独での活動にとどまり、地域的な広がりには欠けているのが現状です。

学校林活動を多くの学校に広げ、継続的に展開していくためには、学校同士の横のネットワークと地域社会、NPOの支援が課題と考えられます。

## 遊々の森とは

総合的な学習の時間などにおいて、学校等による森林環境教育の推進に寄与することを目的として、平成14年に創設された制度です。森林での学習活動、体験活動に国有林のフィールドを提供するために、学校等と森林管理署等の間で協定に基づいて運営されています。

自然観察、昆虫採集などの森林学習のほか、社会や理科、音楽などの授業、植樹、間伐などの体験林業、野外ゲーム、ツリーハウスなどの森林の遊びの場として、継続的な利用が可能です。

平成24年度末現在、全国173箇所が設定されています。

「学校林・遊々の森」  
全国子どもサミット in 北海道

# プログラム

日時：平成25年 8月6日（火）～7日（水）

場所：北海道札幌市南区 札幌市アイヌ文化交流センター  
定山溪国有林



8月6日（火） 札幌市アイヌ文化交流センター

13:50～14:05

開会式

14:05～14:35

特別講演「アイヌ文化と森のつながり」  
（北海道アイヌ協会札幌支部）

14:40～17:45

森林体験活動発表会  
（各小学校による活動発表）

17:45～18:00

森林体験活動発表の講評  
閉会式

☆ ☆ ☆

☆ ☆

19:45～20:15

特別講演「海だった森と化石の話」  
（札幌市博物館活動センター）



8月7日（水） 定山溪国有林

8:00～11:20

自然体験活動

- ・森林観察・測樹体験
- ・カミネッコン記念植樹
- ・豊平川溪流沿い散策

11:20～11:30

終了式





## 「学校林・遊々の森」

全国子どもサミット in 北海道 実行委員会

会長 角館 盛雄



今日は大変暑い日になりましたが、皆さんお元気ですか。ようこそ北海道での「全国子どもサミット」にご参加下さいました。

開催地を代表して心から歓迎申し上げます。

さて、この会場も大分山の中に入っていますが、この辺りから上流一帯にかけて広大な定山溪国有林、5万haをこえる森が広がっています。皆さんの明日の体験活動もこの森の一角で行います。この森は古くから北海道の樹エゾマツ、トドマツ、ミズナラなどの森林資源が豊富で、かつては木材の生産地として大きな役割を果たしました。しかし時代の移り変わりの中で近年この森は、都市近郊の環境保全林として重要となっています。中でも水源林として、札幌の水がめとしての働きは極めて大きく、この森を流域とする豊平川、この会場の下手を流れていますが、この豊平川が、191万札幌市民が消費する水の9割以上を賄っているほどです。

それから、この会場の少し上流に定山溪温泉があり、皆さんの今晚の宿泊地になっています。定山溪温泉は全国的に有名な保養地ですので楽しみにして下さい。

今日はこれから皆さんが日頃行っている活動について発表して頂くわけですが、全国の仲間から活動の様子を直接聞いたり、質問し合うなどということは、またとない貴重な機会でありますので、どうか心残りのない発表となるようがんばって下さい。

明日は定山溪の森に入り、北海道の森林の生態を観察するほか様々な活動を楽しんで頂く予定になっています。

なおこの会場は、「札幌市アイヌ文化交流センター」です。折角の機会ですので、先住民であるアイヌ民族が、森の資源を巧みに利用しながら育んできた独自の文化について講演を伺うことにしました。どうかこの講演が発表前の皆さんの緊張を解きほぐす役割をも果たしてくれるよう願っています。

それではこの二日間で、皆さんにとりまして掛け替えのない体験となり思い出となるばかりでなく、全国の仲間の発表が参考となって、今後の皆さんの活動が一層ステップアップする良い機会になることを念願しまして、開会の挨拶とさせていただきます。

## 開催にあたって



北海道森林管理局

局長 古久保 英嗣



皆さんこんにちは。全国から、また北海道の各地から15校の小学生の皆さん、そして先生方、ようこそ札幌での全国子どもサミットにお集まりいただきました。誠にありがとうございます。

サミットというのは元々、英語で山の頂上という意味ですけれども、大統領や総理大臣などの各国を代表する人たちが集まる会合の名前にも使います。そして、そのサミットを開く場所というのは、よく考えて決められます。今回のサミットは全国で様々な森の中の活動に取り組んでおられる各学校の代表の皆さんが集まりました。大変すばらしい発表がきっと聞けることと思います。

またそれぞれ集まった人の自己紹介カードを少し覗かせていただいたのですが、なかなか皆さん元気で明るくて、おもしろい人がたくさん集まっているようです。どうかお互いに仲良くなってもらいたいと思います。

そして、先ほど角館さんの話にもありましたが、ここ札幌市の国有林は大変美しくて野生鳥獣もたくさんいます。そして北海道でも最も多くの方が森林体験活動をしている森だと思います。さらに、札幌市は大きな町ですけれども、決して水不足にならない、水源林としての役割も果たしています。この場所で今日と明日の2日間に渡って、どうか楽しく過ごしていただいて、夏休みの良い思い出にさせていただければと思います。

「学校林・遊々の森」  
全国子どもサミット in 北海道



